



実践クラブ
もりぞの こうたろう
森園浩太郎議員

島原市の交流人口

Q 九州オルレ島原コースオープンに伴い、湧水スポットのわれん川周辺を整備し、湧水と遊べるスペースを確保し、各イベント等とのコラボはできないか？

A われん川については地区住民と国、県、市で年2回清掃しており、地元の町内会連絡協議会や各種団体と協議していきたい。

Q スポーツ誘致の観点から、オリンピック種目でもあるスケートボードやBMXなど、練習施設が少ない競技の施設整備で島原をアピールしてはどうか？

A 噴火災害当時、モトクロス全国大会が開催された。特定の砂防施設等において、安全性を担保した上で開催した経緯はあり、何かきっかけはあるかもしれない。



白土湖

Q 白土湖の維持管理費とその内訳は？

A 年平均約695万円の経費であり、大半が藻の除去費用。

Q 白土湖を生産性のある観光施設として捉え、ボートの貸し出しや売店の設置など、売上げを目指した指定管理はどうか？

A 洪水をコントロールする役目もあり、商業ベースの取り組みは厳しい面もある。よく調べなければ返答しにくい。

Q 耳洗公園の環境整備を。年度内に清掃を含めた作業をしたい。

豚コレラ対策

Q 発生状況と国、県の対策は？

A 平成30年に岐阜県で、九州では今年1月に沖縄で発生するなど、約16万頭が殺処分された。防疫対策会議などの開催や野生動物の侵入防護柵の設置に対し補助をしている。

Q 市独自の対策は。水際対策の徹底を。

A 研修会を開催し、情報を提供した。防護柵の設置に対し、国、県と連携して補助をしている。



庶民の会
たねむら しげのり
種村 繁徳 議員

本市の基幹産業である農業、水産業

Q 市全体の農地面積はどれくらいあるのか。また、そのうち何%が基盤整備されているのか。

A 本市の農地面積は2080ヘクタールで、そのうち田畑合わせて23%の約450ヘクタールが基盤整備済みである。

Q 地域高規格道路に協力された方の中には、新たな農地の確保が厳しいと言われる人もいる。都市計画区域の用途地域の見直しにおいて、農業振興地域に変更して基盤整備を行い、優良農地を確保できないか。

A 中尾川右岸地域の用途地域の見直しについては、昨年7月と12月に地元から提案された区域案を示し、県に相談した。見直しに当たっては、当該地域だけでなく、市全体の土地利用を勘案した変更理由が必要とといった意見や、一度農業振興地域に編入されると基本的に農業以外の用途での土地利用が制限され、農地転用や企業などの規模拡大ができなくなるため、関係地権者に十分な説明

が必要との意見をいただいている。

Q FRP漁船廃船処理事業で5年間に55隻が処理されているが、その内訳はどうか。

A 漁業を離職された方は17人で約36%であり、残りは以前廃船になっていた船を処理された方である。

Q 職員に水産の専門員はいるのか。

A 現在、水産専門の職員は1人おり、令和2年度から新たに水産技師を1人採用する予定である。

新庁舎整備

Q 全体としての予算は幾らか。

A 解体工事、外構工事等を含め、全体事業費は約52億円の見込み。

Q 一般単独災害復旧事業債の割合はどうか。

A 本体工事にかかる財源として有利な一般単独災害復旧事業債の適用を受けることができ、元利償還に対し後年度に約84.5%の交付税措置がされる見込みである。合併特例債を含めた後年度の償還に対する国の措置を合わせると約80%になる。

【その他の質問項目】

◇ふるさとしまばら寄附金事業について

◇県、島原振興局の存続について

◇検査体制について